
HIF-PH 阻害薬の血中酸素濃度の違いによる効果の差

医療法人衆和会 長崎腎クリニック 長崎腎病院

○橋口純一郎

【目的】

HIF-PH 阻害薬が、低酸素血症下にある透析患者と正常酸素分圧の透析患者の間に、効果や作用に差があるのか観察する

【方法】

EPO3000 μ x3/W で Hb 維持されていた透析患者 39 名を PaO₂ \geq 90 (低酸素群) と < 90 (正常酸素群) の 2 群に分類。ロキサデュスタット 100mg で開始し、貧血・鉄代謝・炎症・栄養状態を比較する。観察期間は 16 週間。

【結果】

16 週後の低酸素群 Hb:10.3、正常酸素群 Hb:9.82 と 2 群間に有意差なかったが、Fer のロキサデュスタット前後での変化量 (Δ Fer) は、低酸素群 Δ Fer:-22.3ng/ml に対して正常酸素群 Δ Fer:9.26ng/ml と有意差が認められた。

【結論】

HIF-PH 阻害薬は、低酸素血症の透析患者に対して、正常酸素分圧の透析患者より、貯蔵鉄を多く利用して造血効果を維持する